

## 第 56 回全日本社会人卓球選手権大会 実施要項

(※コロナ禍の状況により大会要項が変更される場合がございますのでご承知おきください。)

- (1) 名 称 第 56 回全日本社会人卓球選手権大会
- (2) 期 日 2022 年 10 月 28 日(金)～30 日(日)
- (3) 会 場 ANCアリーナ (安曇野市総合体育館)  
JR 大糸線 中萱駅 徒歩 20 分、一日市場駅 徒歩 35 分  
〒399-8204 長野県安曇野市豊科高家 4500-1 TEL : 0263-73-1600
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 長野県卓球連盟
- (6) 後 援 長野県、長野県教育委員会、公益財団法人長野県スポーツ協会、安曇野市、安曇野市教育委員会、  
(予 定) (特非) 安曇野市スポーツ協会、信濃毎日新聞社
- (7) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス  
③男子ダブルス ④女子ダブルス
- (8) 試合方法 ①各種目ともトーナメント方式による。  
②男女シングルスのみ推薦選手のうち 16 人はベスト 32 決定戦よりスーパーシードとして出場する。  
(ダブルスのスーパーシードは設けない)  
③男女シングルスは準々決勝より 7 ゲームマッチ、他は全て 5 ゲームマッチとする。
- (9) 競技日程
- |              |        |                                      |
|--------------|--------|--------------------------------------|
| 10 月 28 日(金) | 9:00～  | 開会式                                  |
|              | 9:30～  | 男女ダブルス (1～5 回戦)<br>男女シングルス (1 回戦の一部) |
| 29 日(土)      | 9:00～  | 男女シングルス (1～5 回戦)<br>男女ダブルス (準決勝・決勝)  |
| 30 日(日)      | 9:00～  | 男女シングルス (6 回戦～決勝)                    |
|              | 15:00～ | 閉会式                                  |
- (10) 競技ルール
- ①現行の日本卓球ルールによる。
  - ②卓球台はグリーンまたはブルーを使用する。
  - ③使用球は、JTTA 公認プラスチック球 ; 40 mm ホワイトのみとする。
  - ④競技用ユニフォームは (公財) 日本卓球協会の公認マークが付いたものとし、競技用シャツは明らかに異なった色のものを 2 着以上持参すること。
  - ⑤ゼッケンは 2022 年度 (公財) 日本卓球協会指定のものを使用すること。
  - ⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして JTTA が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格
- ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で 2022 年度 (公財) 日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程 (注 1 参照) に定められた有段者であること。
  - ②日本学生卓球連盟及び全国高等学校体育連盟に登録している者は出場できない。
  - ③学校教育法第 1 条に規定する学校 (この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。) 及び専修各種学校に在籍する学生及び生徒 (大学院生は除く) は参加できない。
  - ④ただし、勤労を生活の主としている者で、大学、短期大学、専修各種学校において夜間授業を行う学部、通信による教育を行う学部に在籍、及び、高等学校において定時制・通信制の課程を履修しているものは参加できる。
  - ⑤本年度の全日本卓球選手権大会 (マスターズの部) への重複出場は禁止する。ただし、マスターズマスターズの部に参加した者でも、この大会の男女ダブルスには出場することが出来る。
  - ⑥各都道府県代表は、各都道府県卓球協会 (連盟) 主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。
  - ⑦外国籍選手は出場できない。但し、次の場合はこの限りではない。日本で出生した者は、大会申し込み時点まで 3 年以上継続して在住していること。また、外国で出生した者は、大会申し込み時点まで 10 年以上継続して在住していること。ダブルス種目については、出場資格制限はない。

⑧無条件参加選手（別表1参照）

◎シングルの部

- (イ) 第55回全日本社会人卓球選手権大会  
男・女シングルスベスト16の者。
- (ロ) 2022年全日本卓球選手権大会（一般の部）  
男・女シングルスベスト16の者。
- (ハ) 全国教職員連盟からの推薦者男・女各1名  
2022年度全国教職員大会終了後に決定する。

◎ダブルスの部

- (イ) 第55回全日本社会人卓球選手権大会  
男・女ダブルスベスト8の組。
- (ロ) 全国教職員連盟からの推薦者男・女各1組  
2022年度全国教職員大会終了後に決定する。

\*クラブ選手権大会からの推薦はありません。（シングルス、ダブルスともに）

(12) 参加人員 表1

区 分	種 目  都 道 府 県 名	男子	女子	男子	女子
		シ ン グ ル ス	シ ン グ ル ス	ダ ブ ル ス	ダ ブ ル ス
1	長野(開催地)、北海道、東京、愛知、福岡	7	7	4	4
2	埼玉、神奈川、静岡、京都	6	6	3	3
3	大阪、兵庫、岡山、長崎	4	4	2	2
4	岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、山梨、新潟、 富山、石川、三重、岐阜、滋賀、奈良、島根、広島、山口、香川、 徳島、愛媛、高知、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	3	3	1	1
5	青森、宮城、福井、和歌山、鳥取	1	1	1	1

区分1：開催県及び2021年度日卓協一般男女選手登録人員上位4加盟団体

区分2：2021年度日卓協一般男女選手登録人員5～8位加盟団体

区分3：2021年度日卓協一般男女選手登録人員9～12位加盟団体

区分4：区分1・2・3・5に該当しない加盟団体

区分5：2021年度日卓協一般男女選手登録人員が1位加盟団体の1割に満たない加盟団体

※一般男女登録人員は教職員、日本リーグの登録人員を含む

- (13) 参加料 シングルス 1名 3,000円  
ダブルス 1組 4,000円

- (14) 申込方法 大会申込システムを使用して申し込むこと。なお、主管地へはデータをメールで送付する。  
なお、主管地へはデータを本会より締切日翌日を目安にメールで送付する。  
参加料は加盟団体より①現金書留又は②振込にて、（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

① 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square

（公財）日本卓球協会 宛

TEL：03-6721-0921 FAX：03-6721-0931

② 振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会

※送金内訳表は現金書留の場合は同封、振り込みの場合はメール、郵送、FAXなどで本会へ送ること。 メール：[jigyoun@jttta.or.jp](mailto:jigyoun@jttta.or.jp)

- (15) 申込締切 2022年9月5日（月）までに申込手続きを完了すること。  
申込締切日以降は大会申込システムにアクセスできない。締切期日を厳守すること。

- (16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

- (17) その他
- ①一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は認めない。
  - ②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛へ指定用紙にて連絡すること。
  - ③開会式には原則として全員参加すること。
  - ④病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
  - ⑤大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
  - ⑥個人情報取り扱いに関して  
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。
  - ⑦本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。
  - ⑧無観客とする。
  - ⑨帯同者は、男女別で登録チーム毎に、「1名」を申請により認める。  
帯同者名簿を参加申込時に都道府県卓を通じて本会に提出すること。
  - ⑩練習について  
ア. 練習会場は設けない。  
イ. 前日練習、当日の朝の練習時間は設けない。  
ウ. 最終日のみ、割り当てをして練習時間を設ける。
  - ⑪入館について  
ア. 当日試合のない選手とその帯同者は入館できない。  
イ. 最終日のみ、帯同者とは別に練習相手1名の入館を認める（申請方法は別途連絡する）。

別表1

(2021年度) 第55回全日本社会人卓球選手権大会による推薦者

男子シングルス				女子シングルス			
1	上田 仁	(埼玉)	T.T.彩たま	1	長崎 美柚	(大阪)	日本生命
2	大島 祐哉	(神奈川)	木下グループ	2	橋本帆乃香	(大阪)	ミキハウス
3	郡山 北斗	(東京)	リコー	3	野村 萌	(静岡)	デンソー
4	英田 理志	(愛媛)	愛媛県競対	4	鈴木 李茄	(茨城)	昭和電工マテリアルズ
5	町 飛鳥	(鹿児島)	ファースト	5	成木 綾海	(広島)	中国電力
6	松山 祐季	(東京)	協和麒麟	6	前瀧 初音	(愛媛)	愛媛銀行
7	小西 海偉	(東京)	東京アート	7	宋 恵佳	(広島)	中国電力
8	笠原 弘光	(東京)	シチズン時計	8	高橋 梓海	(三重)	エクセディ
	三部 航平	(東京)	シチズン時計		平 真由香	(茨城)	昭和電工マテリアルズ
	高木和 卓	(東京)	東京アート		徳永 美子	(岐阜)	十六銀行
ベ	村松 雄斗	(東京)	東京アート	ベ	出雲 美空	(三重)	エクセディ
ス	平野 友樹	(東京)	協和麒麟	ス	玉石 幸穂	(奈良)	エクセディ
ト	上村 慶哉	(東京)	シチズン時計	ト	山本 怜	(岐阜)	十六銀行
16	渡辺 裕介	(東京)	協和麒麟	16	三村 優果	(東京)	サンリツ
	松平 賢二	(東京)	協和麒麟		井 絢乃	(広島)	中国電力
	藤村 友也	(和歌山)	日鉄物流ブレイザーズ		中畑 夏海	(静岡)	デンソー
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	平野 友樹	(東京)	協和麒麟	1	松平 志穂	(東京)	サンリツ
	松山 祐季	(東京)	協和麒麟		有延 優希	(東京)	サンリツ
2	田添 健汰	(神奈川)	木下グループ	2	森田 彩音	(静岡)	デンソー
	大島 祐哉	(神奈川)	木下グループ		野村 萌	(静岡)	デンソー
3	上田 仁	(埼玉)	T.T.彩たま	3	馬 克	(静岡)	デンソー
	神 巧也	(埼玉)	T.T.彩たま		小畑 美月	(静岡)	デンソー
4	藤村 友也	(和歌山)	日鉄物流ブレイザーズ	4	宋 恵佳	(広島)	中国電力
	松下 海輝	(和歌山)	日鉄物流ブレイザーズ		成木 綾海	(広島)	中国電力
5	皆川 朝	(東京)	日野自動車キックファイターズ	5	平 真由香	(茨城)	昭和電工マテリアルズ
	平野 晃生	(東京)	日野自動車キックファイターズ		田口瑛美子	(茨城)	昭和電工マテリアルズ
6	岡田 峻	(長野)	岡谷市役所	6	永尾 堯子	(神奈川)	サンリツ
	滝澤 拓真	(長野)	岡谷市役所		南波侑里香	(神奈川)	日本ペイントマレッツ
7	定松 祐輔	(和歌山)	日鉄物流ブレイザーズ	7	横山 有沙	(香川)	百十四銀行
	一ノ瀬拓巳	(和歌山)	日鉄物流ブレイザーズ		松澤帆乃果	(香川)	百十四銀行
8	坂根 翔大	(大阪)	関西アカデミー	8	伊藤佑里子	(千葉)	松戸市役所
	各務 博志	(大阪)	関西アカデミー		金子 碧衣	(千葉)	松戸市役所

2022年(2021年度)全日本卓球選手権大会ランキングによる推薦者

男子シングルス				女子シングルス			
1	戸上 隼輔	(東京)	明治大学	11	伊藤 美誠	(大阪)	スターツ
2	松平 健太	(千葉)	ファースト	2	早田 ひな	(福岡)	日本生命
3	吉村 真晴	(茨城)	愛知ダイハツ	3	加藤 美優	(鹿児島)	日本ペイントマレッツ
4	丹羽 孝希	(東京)	スヴェンソンホールディングス	4	木原 美悠	(東京)	JOCエリートアカデミー/星槎
5	松下 大星	(大阪)	クローバー歯科カスピッズ	5	佐藤 瞳	(大阪)	ミキハウス
6	吉山 僚一	(愛知)	愛工大名電高校	6	大藤 沙月	(大阪)	四天王寺高校
7	上田 仁	(埼玉)	T.T彩たま	7	木村 光歩	(広島)	中国電力
8	吉田 雅己	(栃木)	木下グループ	8	長崎 美柚	(大阪)	日本生命
9	神 巧也	(埼玉)	T.T彩たま	9	南波侑里香	(神奈川)	日本ペイントマレッツ
10	大島 祐哉	(神奈川)	木下グループ	10	平野 美宇	(東京)	日本生命
11	松島 輝空	(神奈川)	星槎中学校	11	石川 佳純	(山口)	全農
12	張本 智和	(神奈川)	木下グループ	12	森 さくら	(鹿児島)	日本生命
13	鈴木 颯	(愛知)	愛工大名電高校	13	橋本帆乃香	(大阪)	ミキハウス
14	谷垣 佑真	(愛知)	愛工大名電高校	14	安藤みなみ	(愛知)	TOP名古屋
15	英田 理志	(愛媛)	愛媛県競対	15	芝田 沙季	(大阪)	ミキハウス
16	吉田 海斗	(東京)	専修大学	16	野村 萌	(静岡)	デンソー
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	{ 宇田 幸矢 (東京) 明治大学			1	{ 伊藤 美誠 (大阪) スターツ		
	{ 戸上 隼輔 (東京) 明治大学				{ 早田 ひな (福岡) 日本生命		
2	{ 張本 智和 (神奈川) 木下グループ			2	{ 宋 恵佳 (広島) 中国電力		
	{ 森蘭 政崇 (東京) BOBSON				{ 成木 綾海 (広島) 中国電力		
3	{ 藤村 友也 (和歌山) 日鉄物流ブレイザーズ			3	{ 永尾 堯子 (神奈川) サンリツ		
	{ 松下 海輝 (和歌山) 日鉄物流ブレイザーズ				{ 南波侑里香 (神奈川) 日本ペイントマレッツ		
4	{ 大島 祐哉 (神奈川) 木下グループ			4	{ 石川 佳純 (山口) 全農		
	{ 田添 健汰 (神奈川) 木下グループ				{ 平野 美宇 (東京) 日本生命		
5	{ 中村 煌和 (愛知) 愛工大名電高校			5	{ 芝田 沙季 (大阪) ミキハウス		
	{ 萩原 啓至 (愛知) 愛工大名電高校				{ 大藤 沙月 (大阪) 四天王寺高校		
6	{ 後藤 卓也 (東京) 協和キリン			6	{ 長崎 美柚 (大阪) 日本生命		
	{ 渡辺 裕介 (東京) 協和キリン				{ 木原 美悠 (東京) JOCエリートアカデミー/星槎		
7	{ 上田 仁 (埼玉) T.T彩たま			7	{ 野村 萌 (静岡) デンソー		
	{ 神 巧也 (埼玉) T.T彩たま				{ 森田 彩音 (静岡) デンソー		
8	{ 笠原 弘光 (東京) シチズン時計			8	{ 佐藤 瞳 (大阪) ミキハウス		
	{ 酒井明日翔 (東京) シチズン時計				{ 橋本帆乃香 (大阪) ミキハウス		

※クラブ委員会からの推薦はありません

男子シングルス	女子シングルス
1 — — ( — ) ———	1 — — ( — ) ———
2 — — ( — ) ———	2 — — ( — ) ———

※全国教職員連盟推薦

男子シングルス	女子シングルス
1 ( )	1 ( )
男子ダブルス	女子ダブルス
1 ( )	1 ( )
( )	( )

注1) 段級制規程要約

段位取得について(平成4年3月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会(マスターズの部)  
 ③全日本選手権大会(一般・ジュニア) ④全日本選手権大会(団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記5大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権(マスターズの部)の70歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約(平成元年以降)	
(ア) 初出場者	初段
(イ) 同一大会3回目出場者	2段
(ウ) 同一大会5回目出場者	3段
(エ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト16入り経験者	4段
(オ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト4入賞経験者	5段
(カ) 上記①及び③大会(一般)単または複の優勝者	6段